2020年(令和2年)11月1日(日曜日)　第 387 号

わちろまん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション　あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net　＜発行所＞あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎＜0569＞72-0356　常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎＜0569＞35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする
P.T.C. GROUP
半田中央印刷株式会社
〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525(代)　FAX 0569-29-4500
http://www.handa-cp.co.jp

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職
―自分ドラマつくろう―(115)　岡田清治

■プロフィール
著者：岡田清治（おかだ・せいじ）
1942年生まれ　ジャーナリスト（編集プロダクション・NET108代表）
著書に『高野山開創千二百年 いっぱんさん行状記』『心の遺言』
『あなたは社員の全能力を引き出せますか！』『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971　メール:takamitsu@akai-shinbunten.net

【写真】戦う鶏のように（著者撮影）

姪の就職2

「片桐君、君の言うように、君が責任を取る形で大蔵省（現財務省）に了解してもらいたい」
「わかりました。いまはそれが最善の方法だと思います」
「よう、言ってくれた。ありがとう」
　事件というのは、兵庫県のS私立学校の再建に絡んだものである。藤田は資金難に苦しむ同校の再建を頼まれた。理事長を兼務していたが、どうしても正規の融資だけでは資金ショートする。裏金をつくって先生の処遇を改善しないことには、多くの先生が辞めるという。
　そうなると、これまでの苦労が水泡に帰す。銀行に入るべき預金の一部が学校に回った。教職員の家族を架空行員に仕立て、これに給与、賞与を支払ったことにして資金の流用を図った。一年後、兵庫県警捜査二課が藤田万吉とS校の事務局長を不正流用による特別背任行為の疑いで書類送検した。検察庁から出頭の通知が届いていた。
　出頭の日、片桐が藤田に代わって出かけた。
（一日がこんなに長いと思ったことはなかった）と当時を振り返る。大蔵省に片桐が責任をとることで了解を取り付けていたので、藤田には傷がつかずに済んだ。
　検察庁からの帰りのクルマの中で片桐は一抹の不安を覚えていた。長女の結婚式を控えていたからだ。事件のことは新聞報道で知られていたから、相手側も承知していると思っていた。しかし、それを片桐がやったのだということになれば、相手の気持ちも変わるのではないかと、心配が募る。常務から取締役に降格したことが判れば、その理由を追及されるのではなかろうかと、次から次へと不安が脳裏をめぐる。やがて結婚解消したいと申し出があるとも限らない。自ら進言したこととは言え、この縁談が破綻したら長女はもとより、喜んでいる妻の澪子にも申し訳がない。背筋に冷たいものが走った。ようやく朝方から深い眠りに入った。
　るり子が朝のコーヒーと新聞を持って書斎に入ってきた。
「一服、されたら…」
「うん」
「この夏は祭りも帰省も様変わりのようですね」
「沖縄が大変なようだね」
「沖縄には病院も多くないでしょうし、ご高齢の方も多いでしょうから、重症化が心配ですね」
「沖縄には他県から来ないでという知事もつらいだろね。観光事業、とくに夏は稼ぎ時だから大変だね」
「それにしてもコロナは全国に広がっていますね」
「夜の町から一般家庭内、さらに高校や大学の寄宿舎でクラスター感染が起きている。身近に迫っている感じだな」
「本当にそうですね。誰が感染してもおかしくないですね」
「テレビを観ていると、若い人は大勢で飲んで騒いでいる光景を目にするが、彼らは軽症、または無症状と思っているので軽率な行動に甘んじているよ」
「やがて高齢者に広がることが判らないのでしょうか」
「困ったものだね」
「長い梅雨で、日照時間が不足して野菜の値段がかなり値上がりしていますね」
「そのようだね」
「これからはコロナ対策に加えて、熱中症にも気を付けないといけないので大変ですね」
「ワクチンがぼつぼつ開発されているから、ポストコロナの経済がどうなるのか、心配だね」
「就職も厳しいと言いますね」
「舞さんも大変な時期にインドに行ったものだね。まだ帰国していないのだろう」
「裕美さんから何の連絡もないですから…」
「もう少し様子を見てみよう」
「そうですね」と言って、るり子は居間に戻って雑誌を片手に真三のいるところにやってきた。
―例の雑誌の巻頭言に今後の社会の見通しが載っていました。
　ポストコロナの経済展望――不易流行（松尾芭蕉の俳徊理念）というテーマです。
　いまこそケチらず国民、企業等を支援しろーと与野党あげて国民、事業主、医療従事者や病院、検査、治療薬、ワクチン開発等々に予算、補正予算などで手当てしており、債務が二倍以上になろうとしている。これは先進国では飛び抜けて高く、これまで主張してきた国民の蓄えがあるから大丈夫といったレベルをとっくに突き抜けている。
　コロナ騒動が続いている限り、財政の健全化の議論はあまり聞こえなくなっている。最近になってさすがに心配になってきたのか、ポスト・コロナ世界の風景はどうなるのかと予想するが、著名な経済学者の多くが「まったく予測できない」と口を揃える。
　予測できないことはわかるが、ただはっきりしていることは国の債務は次の世代に引き継がれることである。成人が増えない限り高齢者は年金削減の痛みを求められるだろうが、後の世代はそれに加えて税金、社会保険料等、その高額さに苦しみながら生きていくことになるに違いない。
　そして多くの識者が口を揃えるのは「テレワークなどデジタル化が一気に進む」と。もしそうだとしても、無味乾燥の風景が社会に広がるだろう。そこには飽くなき効率化社会を求める社会が現出するだろうと想像できる。スマートシティ構想も出てきているが、住んだことがないので何とも言えないが、高齢者には住みにくいことが容易に予想できる。「不易流行」変えてはならないことを守りながら、流行に合わせて徐々に変えること」こそ肝要であろう。
「本当にテレワークが普及するのでしょうか」
「俺は企業活動のある部分はそうなると思うが、やがてそういう仕事はロボットやＡＩ（人工頭脳）に取って代われるよ」
「いずれにしましても、これからの若い人は大変ですね」
「いつの時代も大変だよ。七十五年間、戦争がなかったことが、我々の世代では最高の幸せだと思うね」
「そうですね」
「いずれにしても住みづらい時代になるね」
「この前、映画『赤い闇』～スターリンの冷たい大地で～の評論を読んだんだが、ソビエト連邦がひた隠しにした歴史の闇を照らし出す、衝撃の実話とあった。そこに若き英国人の新聞記者が監視する当局の目をかいくぐり、ウクライナに踏み込んで記者が目の当たりにしたのは悪夢の光景だったという」
「観に行くんですか」
「行こうと思っている」
「私も行きたいわ」
「そうか、では一緒に行こう」
―その後、この映画を観た真三は友人にメールを送った。
　私は映画で人肉を食う場面は『野火』が最初で、今回が二回目でした。
　かつて親父に「人肉を食ったのでは？」と聞いたことがありました。と言いますのは、親父は先の戦争でニューギニヤのポートモレスビー作戦（豪州軍を中心とする連合軍との闘いに従軍、補給路を断たれ、ほぼ壊滅状態で退却したからです。ある日、新聞にベタ記事「ニューギニヤで人肉を食べた？」を見たからですが、親父は黙っていました。
　当時、記事、写真はすべて検閲済の判がないと送れなかった。「戦争の大きさは死体の数に比例すると、戦地では死体を数えた」と話しました。
　スターリン時代のソ連はひどいということは知っていましたが、この映画でそれが暴かれ、新聞記者の力の強さに感服しました。
「そうですね。私もショックを受けました」
「日本人は平和ボケと言われても、平和を大事にしないといけない。平和の維持には戦争以上の努力と外交力がいるということを知るべきだよ」
「どうも日本の右傾化が心配ですね」
「私も含め戦争を知らない世代は無責任なことを言うべきではない。とくに評論家やコラムニスト、記者に無茶な発言が目立つ。先の戦争でほとんどの報道関係者が政府当局の権力の前に屈した歴史を反省すべきだよ」
「それが不幸だったのですね」
「七十五年経って、報道陣も二分化しているように見える。これが怖いね」
「今こそ映画『赤い闇』を見てほしいですね」
「そんな中、米中対立で世界が困った状況に悩んでいる。両国とも戦争する意思はないと思うが、戦争は突発的なことで起こるのが、これまでの歴史だからね」
「そういう意味では世界のリーダーはしっかりしてほしいですね」
「いまも世界局地で戦争がない日はないくらいだから、複雑だね」
「コロナ時代に、戦争が加わったらたまらんですね」
　真三とるり子はしばらくお茶を飲みながら庭を眺めた。
　すると居間のテレビが「安倍首相　辞意を表明」という緊急速報を伝えてた。
「まさか、辞めるとは思わなかったが…」
「本当ですか」

私の出会った作品 (53)

杉本武之

(五十三)日本文学(その5)

◎良寛の漢詩④

良寛さんの2篇の長い詩と「盗難に遭う」という珍しい詩を紹介します。「私訳」だけで「訓読」は省略します。

⑯「名利を求めるな」

私訳「『俗世を離れ　寺院に入り／乞食をして暮らして行こう』／こう決意して　出家したのなら／わしの苦言を　聞いて欲しい／今の僧侶はわしの目には／やたらに外で　騒ぎ回ってる／衆生のために　するのでなくて／自益にために　駆けずり回ってる／普通の人が欲を出すのは／それは少しは　許せることだ／出家のくせに　節操無きは／その根性を　わしは許せん／髪を断ち切り　家族と別れ／僧衣だけを身に付けようと／全てを捨てて　僧になるのは／安易な決意じゃ　出来ないことだ／この世の中を　眺めてみると／男も女もみな働いている／女が織るから　着物が着れる／男が耕すから　ご飯が食える／だが僧たちは　何をしている／修行もしないし　悟りもしない／檀徒の布施を　無駄遣いして／仏の供養も　あんまりしない／仲間と集まり　大口たたき／無意味に日々を　送っているだけ／外出すると　格好をつけて／婆さんたちを　たぶらかしてる／名僧ぶって　ふんぞり返ってる／ああ僧たちよ　目を醒ますのだ／乳虎の群れに　入ってもいいが／名利の路には　入ってはならぬ／少しの欲でも　心に入れば／洗い流すは　至難の業だ／思い出すのだ　出家した日を／衣食のためでは　なかったはずだ／父母はあなたの　頭を撫でた／兄弟たちは　見送ってくれた／その日が最後で　恩愛も絶え／故郷からの　便りも果てた／だが親たちは　神仏に向かい／あなたの修行を　祈っているのだ／今と　思っても遅い／わしがこんなに　説いているのは／口先だけの　ことではないのだ／今からじっくり　考え直して／あなたの態度を　改めて欲しい／頑張るのだよ　若き僧たち／恐れることなく　修行に励め」

『良寛自画像』

(私の感想)これは、僧侶たちの現状に対する激しい攻撃の詩です。「今の僧たちは、仏の弟子と称していながら、衆生を救っていない。自ら悟ることもない。檀家から受け取る布施を無駄遣いし、仏に仕えることさえ忘れている。外に出ると、いかにも悟り切った高僧のふりをして、婆さんたちをだましている」

良寛さんは若い修行僧たちに希望を託し、励ましの言葉を送っています。「良い機会は常に失われやすく、正しい仏法にもなかなか出会えないものだ。絶対に名利を求めてはいけない。初心を忘れず、精神を正しく保持しなさい。あなたの安易な考え方や態度を改めなさい。若い僧たちよ、正しい修行の苦しさを恐れてはなりません」

良寛さんが亡くなり、墓が島崎の隆泉寺に建てられた時、その「良寛禅師墓」の碑にこの長い詩が選ばれて刻まれました。私も何回か見に行きましたが、墓の前に立つ度に、この激烈な詩を良寛さんの代表作として永久に遺したいという当時の人々の切実な気持ちがひしひしと伝わってきました。

良寛さんは心の優しい慈愛の人でしたが、心の中に揺るぎない強固な信念を持った不動の人でもあったのです。

⑰「地震後の詩」

私訳「地震の後は　来る日も来る日も／昼夜を問わず　寒さが厳しい／空は一面　黒雲に覆われ／雪は風に　巻き上げられた／余震も続いて　波は逆巻き／家屋は震え　庶民は嘆いた／回顧すればこの四十年／軽佻浮薄に　社会が動き／平和も続いて　人心弛み／悪党どもが　悪事を働き／恩や義理は　消えて無くなり／人情などは　誰も知らない／儲けとなれば先を争い／道義の話は愚の骨頂で／傲慢無礼が　誉め称えられ／厚顔無恥が　充満してた／その荒廃は　全土に及び／わしの心は　暗く沈んだ／物事は皆　微より現れる／この災禍も　遅かったほどだ／気象の動きも　おかしかったし／四季の巡りも　乱れていた／天罰だったと　自省するんだ／人を怨むな　天を咎めるな」

(私の感想)この詩の「地震」というのは、文政11年(1828)11月12日の朝に発生した新潟県栄町を震源とする大地震のことです。その時、良寛さんは70歳でした。死者は千八百名以上、倒壊家屋は一万三千軒にも及びました。この大地震は自然現象だということを、良寛さんは十分に理解していました。しかし、それまでのこの世の中の風潮に心を痛めていた良寛さんは、地震の原因を人々の心の弛みに結び付けました。天罰だったのだと言って、人々を戒めたのです。

―誰も彼も、太平の世に慣れて、気が弛み、道徳を軽んじ、平気で人をだますようになってしまった。人々よ、自省してもらいたい。この惨事を、他人や天の責任に転嫁してはいけない。今までの自分自身の軽佻浮薄な言動を深く反省して欲しい。

詩の前半は、大地震の後の気象の変化や人々の苦しみが描かれています。当時、日本海を低気圧が通過中で、強風が吹き荒れていました。低気圧が通過した後は、急に寒気が入り込みました。人々は、余震の恐怖に脅え、激しい風雪に脅えていたのです。

この地震について親友の山田杜皐に宛てた手紙が残っています。その中に、次の有名な文章が書かれています。

「災難に遭う時節には災難に遭うがよく候。死ぬ時節には死ぬがよく候。是れはこれ災難をのがるる妙法にて候」

⑱「賊が入った」

私訳「座禅の用具を　賊に盗まれた／賊の侵入禁止はできぬ／一晩中　窓辺に座れば／しとしと雨が　竹林に降る」

(私の感想)盗賊に所有物を盗み取られても、良寛さんはその行為を咎めません。自分よりも貧しい者が泥棒に入ったのだから、それに対して怒ってはいけない、と良寛さんは考えていたのでしょう。

別の日のこと、夜中に泥棒がやって来て、良寛さんが寝ている蒲団を奪い取って行きました。良寛さんは、泥棒が蒲団を取りやすいように寝ている体の位置を動かしました。

信じられないような話ですが、本当のことだった、と私は思っています。

〈杉本武之プロフィール〉
1939年　碧南市に生まれる。
京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。
〈趣味〉読書と競馬

この指(ゆび)とまれ (296)

昭和55年度 常滑西小学校二年二組「どろんこ」

氏原朝信

中庭の遊具を使って(2)

給食の事件からすっかり立ち直り、二年二組の子たちは仲よく遊べるようになりました。

7月8日(火)　K・貴弘⑤

お昼の放課、中庭(すべり台)でスパイごっこをしてやぎくんが逃げてぼくがスパイになったから、ほりでさんに追いかけられてともひさくんにも追いかけられたよ。ともひさくんとほりでさんが話をしているとき、逃げたよ。

7月14日(火)　I・直城⑦

中庭でぼくとさいとうくんとやぎくんとくろせくんとたけうちくんとどろぼうけいさつごっこをしました。ぼくとさいとうくんがけいさつになりました。

7月8日(火)　M・桂子③

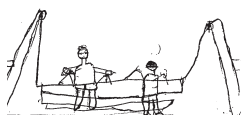
昼の放課に(ジャングルジムで)ひらのさんとほそ川さんとあいむさんと列車をつくって遊びました。それであいむさんが手をはなしてしまったので10数えてから、また列車にもどってきました。たのしかったです。

Y・孝幸⑤

7月8日(火)　A・祐二⑧

お昼の放課に友だちと遊動木で遊びました。こぐのはたいへんです。

＊今は**遊動木**はありません。



雨の日の遊び(1)

雨や曇りの多い日が続きました。そんな中、子どもたちは知恵を出し合い、いろんな遊びをして仲よく楽しく放課を過ごしました。

7月9日(水)　N・雅貴⑤

二時間目の放課にねん土で遊びました。くろせくんは車を作っていました。ぼくは人を作りました。やぎくんはひこうきと車を作っていました。そして、ぼくがひこうきを作ろうとしたらチャイムがなったので、作れませんでした。

K・泉　⑧

りよちゃんと絵を見せ合って遊びました。りよちゃんの絵は手をうしろにかくした絵が多かった。

W・英隆③

かずとくんとほそかわさんとわかこさんとねん土遊びをしました。ぼくは、ひこうきを作りました。

7月10日(木)　W・祐子④

二時間目の放課にねこの絵をかいていたら、とてもじょうずにかけました。そして、もう一回かいたら、へたになりました。

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単！ 蓮根としめじの炒めもの

ビタミンCを多く含む蓮根をたっぷり食べて風邪予防に努めましょう♪

【4人分】

材料
◎蓮根…… 300ｇくらい（皮をむき半月に切り、3～4mmの薄切りにし、水に浸す）
☆豚こま肉…… 200～250ｇ（Ⓐの調味料と混ぜ合わす）
◆しめじ…… 1パック（石づきを取り省き、子房に分けておく）
Ⓐ 酒……大さじ1と1/2　しょうゆ……大さじ1弱　砂糖……大さじ1
Ⓑ 酒……大さじ2　しょうゆ……大さじ3弱　みりん……大さじ2　砂糖……大さじ2
Ⓒ サラダ油…… 適量
Ⓓ ごま油…… 少々

作り方
① フライパンを中火にかけⒸを加え☆に火が通るまでしっかり炒め、火を止めて皿に移す。
② ①のフライパンを再び中火にかけ◎の水をしっかり切ったものを入れ、焼き色が付くよう、ていねいに炒める。
③ ②に①と◆を加え混ぜ、中火にし、Ⓑを加え全体に味がなじむよう炒める。最後にⒹを加える。
お好みで、ねぎを散らしても美味しいですよ。

いべんと

◎**常滑市民文化会館 ホール**

▼わくわく体験教室 じぶんが☆主役☆MYコンサートをしてみませんか？一日(日)　午後1時～午後4時　関係者のみ　問合せ　常滑市生涯学習スポーツ課☎43-5111

▼第15回ファミリキッズダンス発表会・十五日(日)　一回目　開場　午前十時　開演　午前十時半(～午後(時半)　二回目　開場　午後二時　開演　午後二時半(～同五時)　関係者のみ　問合せ　ファミリキッズダンス☎080-1307-7121(桑内)

▼常滑青年会議所2020年度11月例会　北野誠講演会・二十二日(日)　開場　午後二時半　開演　午後三時半(～同五時半)　入場無料　問合せ　常滑青年会議所☎35-0771(水野)

▼文化の日記念「文化振興事業」Dance Studio JOJO第1回発表会・二十八日(土)　開場　午後二時半　開演　午後三時(～同五時)　入場料千円　問合せ　Dance Studio JOJO☎080-1950-9302(谷川)

◎**常滑市民文化会館 展示室 あなたのギャラリー**

▼文化の日記念「文化振興事業」中日写真協会写真展示・六日(金)　午前九時～午後五時　あなたのギャラリー　問合せ　中日写真協会☎35-3455(加藤)

▼墨彩画ロビー展・七日(土)～十五日(日)　午前九時(初日午後一時から)～午後五時(最終日同三時まで)　あなたのギャラリー　問合せ　☎43-0133(小林)

▼文化の日記念「文化振興事業」「花と書と陶・今日の美術」合同展・二十日(金)～二十二日(日)　午前十時～午後五時(皇茶席は二十一日)　ホールロビー、第1・2展示室、あなたのギャラリー　問合せ　常滑市文化協会事務局☎35-2920

▼常滑地区伝統文化いけばな親子教室・二十一日(土)　午前九時半～同十一時　第2練習室　問合せ　常滑地区伝統文化いけばな親子教室☎052-321-8985(伊藤)

▼文化の日記念「文化振興事業」第70回新紀美術協会記念展・二十三日(月・祝)～二十八日(土)　午前九時(初日同十時から)～午後五時(最終日同四時まで)　第1展示室　問合せ　新紀美術協会☎34-2718(柴田)

▼第34回子ども美術展・二十六日(木)～十二月二日(水)　午前九時～午後五時(最終日同三時まで)　あなたのギャラリー　問合せ　常滑市文化協会☎35-2920

◎**常滑市立図書館**

▼令和2年度文化の日記念「文化振興事業」第70回新紀美術展(日本画・洋画・彫刻・陶芸)・六日(金)～二十日(土)

▼シルバー筆耕クラブ展(書)・二十二日(日)～十二月四日(金)

◎**とこなめ陶の森資料館**

▼リニューアルのため休館(二〇二一年秋

少人数での家族葬専用ホール
大阪屋リビング 常滑
誠意を込めて安心のお手伝い
大阪屋葬祭
常滑ホール　鬼崎ホール　阿久比ホール
年中無休　24時間体制　TEL0569-35-4949(代表)
●わーくりん知多協力店
●自治労常滑市職員労働組合協力店
大阪屋葬祭　検索

知多の新鮮たまご
発酵ケイフン
(有)知多エッグ
知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

知多の哲学散歩道 Vol.23

「鈴渓義塾物語・盛田昭夫と平岩外四の思想②」

久田健吉（哲学研究者）

盛田昭夫の思想の中核は、1986年出版の『MADE IN JAPAN』（朝日新聞社）に書かれています。しかしこれが最高というわけではありません。1992年執筆の論文「日本型経営が危ない」（文藝春秋、2月号）が最高です。

『MADE IN JAPAN』には何が書かれているのでしょうか。

「集中豪雨的輸出」との批判に対する反批判です。しかし、この海外からの集中豪雨的輸出という批判は、輸出規制を求めるという保護主義的行動をともなってもいました。それゆえ、単に反批判を書いて終りとするわけにはまいりません。根本から反批判を書き、納得してもらい、保護主義的行動を克服してもらうのでないといけませんので。

日本の集中豪雨的輸出は他国の集中吸引的輸入があって生まれたのです。これがなければ集中豪雨的輸出などありえません。なぜこんなことが起きたのか。日本製品が優れていたからです。なぜ優れたのか。その理由の解明、つまりこれを生み出した日本企業の仕組と思想、端的に言えば日本企業がもつ強さの秘密、企業哲学の解明が書かれています。この上に立って、世界が目指すべき資本主義のあり方について提案もします。

『MADE IN JAPAN』には以上のことが書かれているのに、なぜこれを「最高」と言わないのか。理由があるからです。その理由については後で書きます。今はこの本には盛田昭夫の思想の中核が書かれているということで、満足してください。

日本製品が優れている理由について。日本製品がなぜ優れたものになったのかの理由を述べる形で書かれています。技術を尊重する企業哲学を持っていたからだと。

この盛田の「企業哲学」は井深大の「企業哲学」に由来します。

盛田は、井深が掲げる「企業哲学」に共鳴して、東京通信工業（現ソニーの前身）に入社し、井深の副官として頑張ります。この中で、盛田はこの企業哲学を発展させ、自らのものにしていくのでした。

「真面目ナル技術者ノ技能ヲ最高度ニ発揮セシムベキ自由闊達ニシテ愉快ナル理想工場ノ建設」

これが井深の掲げた企業哲学です。盛田はこの井深の夢を実現すべく献身します。

「技術者ノ技能ヲ最高度ニ発揮セシムベキ自由闊達ニシテ愉快ナル理想工場」と聞くと、何か技術者の楽しみの話のように聞こえますが、そうではありません。科学は人間生活に役立ってはじめて人間的意味を持ちますが、その任を担う技術者たちが十分に力の発揮できる工場を目指すという意味なのです。

盛田は、技術を、生活を豊かにするものと理解し、企業哲学の方向性を明確にしていきます。そしてこの課題を、技術者だけの課題とするのでなく、全労働者の課題として発展させていきます。戦後の民主憲法は、無闇な馘首（かくしゅ・首切り）を許さないという労働法を生み出しますが、これを追い風にして、労働者を単なる生産の駒と見るのをやめ、労働者を、生活を豊かにする製品の開発という企業の目標を共有する仲間・家族として育てていくようにしたのでした。企業における家族主義の成立です。

この家族主義の中で、労使は共存共栄の思想で頑張るという関係を生みだします。年功序列や終身雇用制がこの関係を補強し、労働者はみな「検査係」という自覚をもって働くようになります。これこそが日本企業が持つに至った強さの秘密と盛田は言います。

企業哲学とは言い得て妙です。哲学は共存を求める学問です。盛田の企業哲学は企業における共存の実現を目指しています。まさに盛田は哲学者として頑張ったのでした。

日々是好日

「FUKI（フキ）HOTEL（ホテル）物語」

【写真】FUKI HOTEL想像画（1946年頃）

四海波の笠松川の橋のたもとに立っていると、河和の航空隊の兵器などを載せた大きな米軍のトラックが3台、4台と猛スピードで北上して行った。すごい砂ぼこりだ。今度は反対側から深緑色のジープが猛スピードで来た。綺麗で派手な女性が、米兵の膝の上に足を乗せて腕を首に回している。フロントガラスを前に倒しているのではっきりと見えた。女性は日本人で、名古屋から乗せてきたのだと思った。しばらくすると次々と。

ジープが入っていった敷地には、水色ときわどい黄色をあしらった、一部の丸い窓が印象的な派手な建物が存在感を見せて『FUKI HOTEL』の看板があった。横付けした米兵は私を見つけて「カマヘン…ボーイ！ボーイ！」。チューインガムをくれた。怖くて食べるのを躊躇していると、早く食べなさい…と言ったのだろう、噛みだすと米兵は微笑んだ。

庭には大きなプールがあったが、ホテル建屋の東側は松林が美しく、敷地内まで海が来ていた。ある日、綺麗でグラマラスな日本人の女性が、チャプチャプと水浴びをしていた。こっそり覗いている私を米兵が見つけて「カマヘン…ボーイ！ボーイ！」。チョコレートをくれた。飛び上がるほどうまかった。

豪華なダンスホールもあって、電気蓄音機と大きなスピーカーが置いてあった。よく楽団が演奏していた。米兵がドラムを叩いていたこともあった。日本人の管理人に見つかった時は、追い出された。それでも、松の木によじ登って覗いた。

このホテルには、村の祭りの時は山車も寄った。いろいろいっぱい貰えたという。

米兵の言った「カマヘン」は「Come in」ではなく、きっと「Come on in」がそう聴こえたのでは…。お客を迎え入れる気持ちでの「さあさあ、お入り」ではないか。米兵たちは少年を大切に思っていたのだ、と私は思った。

話を聞き終えた瞬間、目の前の少年は私の歳を瞬間的に追い越した。そしてFUKI HOTELはいくらネット検索しても出てこない…。四海波はやっぱり浦島太郎の世界だ…。

伊藤　明德

応募

日々の生活の中でチョットしたこんな事・あんな事・心和む事、面白いエピソード等この欄へどしどし応募してください。（原稿用紙2枚程度）

応募先：あかい新聞 武豊店（郵送またはFAXにて）
住　所：知多郡武豊町字金下37番地
ＴＥＬ：0569-72-0356
ＦＡＸ：0569-72-6002

意地悪？or仲良し？

秋の夜長は栗きんとんを持って、おばあちゃんとおしゃべりを楽しもうっと、思っている。そして、夕暮れ時は何となく淋しくなってしまう時もある。そして、Kちゃんのたし算のお勉強は順調のようだ。時々、間違えているけれど、まあ順調だよ。ひき算もすこし出来るようだ。僕は偉そうに“Kちゃん、頑張れよ!!”とエールを送った。Kちゃんはクスッと笑っていた。Kちゃんの笑顔って、小さな体で精いっぱいの喜びを表現するんだよ。いつも素敵だなあと、思う。周りを明るくするんだよね。今日もKちゃんの笑顔はいいなぁ…と、言っている人と出合った。Kちゃんは1カ月に5人くらいファンを増しているよ。

そして、今日の僕はお買い物ごっこで遊んだよ。お寿司やさんの大将になってみたり、たこ焼きやさんになってみたり、ラーメンやさんになってみたりと、大忙しだよ。お客さんはパパであったり、おじいちゃんであったり、おばあちゃんであったりと、さまざまだ。そして、お客さんは自分の好きなように注文してくる。早く持ってきてーと言ってか、たこ焼きしかないって言っているのに、たい焼きがいいとか、マグロの握りじゃないと嫌だとか。もう、お客さんのわがままには付き合えないから、“今から漁に出ますー”と言って、強制的にお店を閉めて、お買い物ごっこは終了。自分勝手なお客さんは困っちゃうよ。あははは。

次は、お絵描きを楽しんだよ。Kちゃんは女の子だから、お花とかハートとか、お人形さんとか可愛いものを描くけれど、僕はもっぱら恐竜さ。Kちゃんは「何？この絵は？」と言って、変な顔をするけれど、それでも僕はまた恐竜を描いている。そして、またKちゃんは変な顔をする。それでも僕はまた恐竜を描いている。こんな僕は意地悪かな？でも、Kちゃんとは仲良しさ。（R）

若竹俳壇

作品募集 毎月十日までに葉書で発行所へ

盗掘を免る古墳ばった飛ぶ　蟹江 永了
秋晴や墓前の背（せな）がじりじりと　谷川と志江
白菊や細工物のごと盛り咲きて　長坂みつゑ
どの顔も時代おくれの草の花　池田ユタカ
秋澄むや空の色から海の色　関 里美
運動会拳固のごときにぎり飯　加藤 久子
宇宙葬樹木葬の世曼殊沙華　斉藤 浩美
煙突を包み込むよな鰯雲　杉江 民子
野良猫の丸い背中や月煌々　細井かね子
秋晴れに思わず一つ深呼吸　塚本 千鶴
病まずゆく月並みの日々蛇笏の忌　中尾 節也
穴惑武将の墓を守るごと　古川 義高
正座して月見の宴酒徳利　古川三恵子
なお生きて月と語らむ汝（な）と共に　久田 笙子
御在所を下（くだ）りて里の赤とんぼ　山下みどり
清浄や浴後ながめる松と月　竹内三千彦
コロナ禍もしばし忘れて月愛でる　磯村美耶子
爽やかや通楽団の子等の顔　村井みさを
仲秋の名月眺め句を案ず　吉田ひろし
蜩の鳴き止めて又鳴き出した　清水ドラ吉
あかあかと川面に映える曼珠沙華　杉江 タエ
与九郎の城を仰ぎて月の庭　桑山 撫子
片付けをされて複雑敬老日　林 京子
大夕立超特急の下校生　中村 照代
波の音と魚跳ねをり秋の浜　大津くによ
葉に触るるたびに苦瓜自己主張　江端 久恵
秋の朝生きてる証痛みあり　浦崎ひとみ
母愛でし中秋の月山の端（は）に　中山 洋子
秋雨や午後の紅茶の香り立ち　村井 範子
曼殊沙華心も軽くウオーキング　山中 博子
目の合へば物言ひたげな穴惑（あなまどひ）　竹内 艶子
東の雲華やげり今日の月　竹内 佳香
居候もう二杯目の栗ごはん　日比 道生
新涼や水琴窟の音かすか　田上 義則
郡上鮎釣る人見ゆる車旅　豊吉 義夫
一眼レフ見据ゑる先に秋の色　槙野 侃
大魚一尾泳ぐが如き鱗雲　山下 敏子
月の出や久々夫に名を呼ばれ　山本なづな
水筒の傾き置かれ秋耕す　坂 靖久
月見とて四阿に坐す小半時　山下 悠児
秋茄子や優しき顔の孫重し　岩橋 久美
のどが鳴る輪切りのレモン瓶に浮く　中村 洋子

まで）

◎とこなめ陶の森 陶芸研究所
▼常設展「焼き物で辿る常滑の歴史」・午前九時～午後五時　無料

◎常滑市体育館
▼常滑市ジュニアバスケットボールオータムフェスティバル・七日（土）～八日（日）
▼愛知県小学生バドミントン大会・十四日（土）
▼常滑市子ども会綱引き大会・二十九日（日）

◎知多市こども未来館
一日（日）～二十九日（日）　午前九時～午後五時　場所　2F工作室　時間制限、人数制限あり　対象　どなたでも
▼工作「えとかざり（うし）」　内容　おはながみ・金色おりがみ・組みひもなどで、かわいい来年のえとを作ります。一個百五十円
▼工作「カレンダー」　内容　板・木かるねんど・コルクシートなどで、万年カレンダーを作ります。一個　二百四十円
▼工作「ぐにゃぐにゃだこ」　内容　ビニール袋・竹ひご・たこ糸などで作ります。一個　百二十円
▼工作「ぐんぐんだこ」　内容　ぐんぐんだこのキットで作ります。各一個　二百円
▼「ふくわらい（正月あそび）」　内容　板に顔の形にセットした布をはり、木のチップに色付けし、顔のパーツを作ります。一個　百二十円
▼「こまづくり」　内容　糸引ごま（3種類）・リールごま・ヨーヨーなどのこまに色を塗って回します。各1個　二百四十円～五百円（数量限定あり）
▼あわてんぼうのクリスマス会・二十二日（日）、二十三日（月・祝）　午前九時～午後五時　内容　クリスマスにちなんだ工作（9種類）もあり、サンタさん・木の実のマグネット・クリスマスケーキ・クリスマスカード・ボタンをつかったフレーム・たまごでリース・お正月かざり・サンタとトナカイ・ベースキャンドル（お持ち帰り工作もあり）　場所　こども未来館（2F工作室・1Fホール）※今回のクリスマス会は、工作のみです。　対象　どなたでも　一個百二十円～三百円
※時間制限、人数制限があります。詳しくは同館のホームページを参照

◎ギャラリーCera（常滑市観光プラザ内）
▼山本宣光 陶展・～九日（月）　午前九時～午後五時半　無料
▼竹内孝一郎 陶展・十三日（金）～二十三日（月・祝）　午前九時～午後五時半　無料
▼noir et blanc -魚谷あきこ・大渕由香利-・二十七日（金）～十二月七日（月）　午前九時～午後五時半　無料

◎ギャラリーとこなめ（常滑市陶磁器会館内）
▼無想庵 散歩道を着物で散策・七日（土）～八日（日）、十四日（土）～十五日（日）　午前九時～午後五時　無料（着付有料）
▼常滑焼急須展示・ガイドと歩くやきもの散歩道・中国宜興ホットアートコンペンション入選作品・十九日（木）～二十四日（火）　午前九時～午後五時　無料
▼たかはしさだこ・苅谷令子・二十六日（木）～十二月一日（火）　午前九時～午後五時　無料

◎小ギャラリーとこなめ（常滑市陶磁器会館内）
▼創作を楽しむ 手まり 板倉さえ子 型染め 大西春伸・五日（木）～十日（火）　午前九時～午後五時　無料
▼乙田窯・十二日（木）～十七日（火）　午前九時～午後五時　無料
▼常滑焼急須展示・ガイドと歩くやきもの散歩道・中国宜興ホットアートコンペンション入選作品・十九日（木）～二十四日（火）　午前九時～午後五時　無料
▼北川不三男・二十六日（木）～十二月一日（火）　午前九時～午後五時　無料

◎ワークショップ（常滑市陶磁器会館内）
▼常滑焼急須展示・ガイドと歩くやきもの散歩道・中国宜興ホットアートコンペンション入選作品・十九日（木）～二十四日（火）　午前九時～午後五時　無料

◎常滑屋
▼「岩田芳光 紙の絵画展」岩田芳光・～一日（日）　面できっちり描いて、切りながら彩色。紙で彩した画、ご覧ください。いつも来る猫が来ないと気になる今日この頃。
▼「自然の色、秋冬の服」天然色手染工房はちはち・三日（火・祝）～八日（日）　自然の恵みをいただいて、草木染、藍染した上質な天然素材の秋冬の服。知多木綿、2重織りや3重ガーゼなど厳選素材を心を込めて手染め「はちはち」がお届けします。
▼「秋冬を装う大人服」撫子座・十日（火）～十五日（日）　ビタミンカラーの大人服、気分を明るくしませんか？いつも落ち着いた色をお選びのあなた、今までとはちょっぴり違う元気カラー試してみませんか。
▼「たみこパッチワーク展」・二十三日（月・祝）～二十九日（日）　年に1回の展示会。展示会出展を目標に作品づくりに励んできました。それぞれの作者・作品の思いをぜひ感じてください。

◎方円館
▼渡邊悠 陶展・～十一日（水）
▼step VI 樹益倶楽部 黎鳳・英明・秀峰・十三日（金）～二十五日（水）
▼藤田徳太 陶展・二十七日（金）～十二月九日（水）

◎武豊町立図書館
▼読書感想画展・～二十六日（木）
▼楽しく健康づくり三B体操・十四日（土）　午後一時半～同二時半　申込要
▼グループ空「大人のための朗読会」・十七日（火）午後一時半～　演目「おさらば食堂」咲乃月音著　「紙吹雪」宮部みゆき著　定員　十五名（当日申込順）

◎武豊町中央公民館
▼パソコン広場・五、十二、十九、二十六日各（木）　午後一時半～同四時半　問合せ　☎090-8422-4251（鈴木）
▼武豊町自然観察会「にぎやかな秋の鳥たちを見よう！」・十四日（土）　集合場所　中山保育園駐車場　料金　五十円（保険料）　申込不要（小学生以下は保護者同伴）　小雨決行　問合せ　知多自然観察会　☎73-6078（古川）
▼そば打ち教室・①二十七日（金）一般八名　②二十八日（土）親子（小学生）六組　各午前十時～午後一時　料金　千八百円（申込要）

◎武豊町民会館 ゆめたろうプラザ
▼ゆめプラモーニングコンサート2020オカリナ&ギター♪ときどきテルミンII・十八日（水）　午前十時半開演　出演　エルマノスM：（ミュー）
▼造形作家関口光太郎とワークショップ参加者の作品展『みんなで作った新聞紙&ガムテープ彫刻展』・二十七日（金）～二十九日（日）、十二月四日（金）～六日（日）　各午前十時～午後七時　※十二月六日（日）は午後四時まで
▼ゆめプラサロンコンサート2020④しなやかに輝く～ココロ踊るクラシック～・二十八日（土）　午後三時開演　ヴァイオリン　礒絵里子&ピアノ　田村緑

◎くすのき児童館
▼折り紙で秋の飾りを作ろう・一日（日）～二十八日（土）　午前十時～午後四時十五分の好きな時間（児童の定員によりお待ち頂く場合があります）
▼クリスマス飾りを作ろう・二十二、二十九日各（日）　①午前十一時～同四十五分　②午後一時半～同二時十五分　③午後三時～同四十五分　※各時間ごとに定員がありますので申込みが必要です

◎おおあし児童館
▼スノードームを作ろう・各土・日・祝　午後一時半～同三時の好きな時間
▼作ってみよう・平日　午後三時～同四時半　土・日・祝　午前十時半～正午、午後一時～同四時半の好きな時間
※児童館の定員によりお待ちいただく場合があります
※当面の間、児童館のご利用は武豊町内の方のみに限らせていただきます
※富貴・長尾児童館にて行事はありません

◎武豊町総合体育館
▼バスケット年長児教室・十二、十九日各（木）　午後五時十五分～同六時　申込要
▼おやこヨガ教室・五、十二、十九日各（木）　午後四時四十分～同五時半　申込要

◎半田空の科学館
▼LEGOロボットと遊ぼう・八日（日）　午後一時半～同四時半　定員　五名（小学五年生以上）　参加費　五百円
▼熟睡プラ寝たリウム「オーロラと秋の星空」・二十二日（日）・二十三日（月・祝）　午後四時～同五時　参加費　大人二百二十円　小人百十円
問合わせ　半田空の科学館　☎23-7175

愛とMy Family

脇田紅羽(くれは)(1才)　常滑市

パパと2人で紅羽はどんな大人になるのかなぁ〜と、まだ先の事なのに今からワクワク♡将来の事や夢を話しています。紅羽の成長を日々近くで見れて本当に幸せです。これから、色んな事があるかもしれませんが日々の小さな幸せを感じ、笑顔の絶えない家族を育んでいきたいです。そしてパパとママを紅羽の親にしてくれてありがとう。

写真・文　脇田　泉帆

わが家のニューフェイス

田中洸太朗(こうたろう)(2才)　名古屋市

ぼくはたなかこうたろうと言います。ぼくはパパとママとお出かけをするよ。こないだサファリパークに行ってきたんだ。車から見たライオンがとってもかっこ良かったよ。ぼくもライオンみたいにかっこ良くなりたいな。すごく楽しかったんだ。また3人で行きたいな。連れて行ってね。

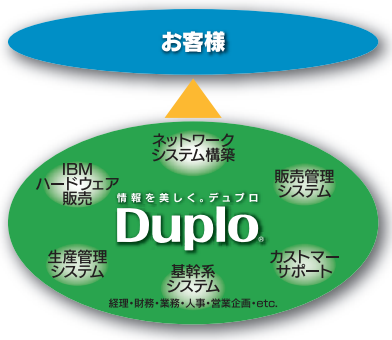
お休みの日はパパとママとお出かけをするよ。こないだサファリパークに行ってきたんだ。車から見たライオンがとってもかっこ良かったよ。ぼくもライオンみたいにかっこ良くなりたいな。すごく楽しかったんだ。また3人で行きたいな。連れて行ってね。

写真・文　田中　祥子

デュプロ販売株式会社（名古屋）
東海・北陸地区発売元

デュプロは
コンピュータネットワークを活用した、
お客様の新しいビジネススタイル
“e-BUSINESS”を提案していきます。

情報を美しく。デュプロ
Duplo®
from print to documents



デュプロ販売株式会社
〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号　TEL〈052〉321−2020

ぼくもわたしも新聞デビュー
中日こどもウィークリー
ぼくのわたしの新聞で
「考える力」、「集中力」を身につける！
バラエティー　スタディー　歴史マンガ
ずかん　チャレンジ　ニュース　ファミリー
親子で読んで楽しんで学べます！
毎週土曜日のお楽しみ！　月額550円(税込)

「中日春秋」で学力アップ!?
人間力もアップ!?
「中日春秋」の書き写しは学力アップ・人間力アップの第一歩です。
人間力アップ!!
総合的学力…すべての教材の学力アップの土台に！
応用的学力…問題を正確に把握する力・解答の解説を適切によみ込む力
基礎的学力…読解力・語彙力・集中力・注意力アップ
日常的習慣…「中日春秋」書き写しよむだけでも○！書き写せば◎！
中日春秋書き写しにチャレンジしよう！
中日春秋書き写し専用ノート
1冊(1ヶ月分)
110円(税込)

各種お問合せはあかい新聞店まで　武豊店☎0569-72-0356　常滑店☎0569-35-2861

あかい新聞店では
一緒に働く仲間を
大募集しています!!
安心してください！　初心者歓迎！
未経験大歓迎
平日のみのお勤め可能です!!

朝刊配達
勤務時間　AM3:00〜(1〜2時間)
給　与　月給 30,000円〜50,000円(配達部数によって変わります)
休　日　月4日以上
自転車またはバイクで新聞の配達をするお仕事です。毎日同じところに配達していただく仕事なので、どなたでも簡単に出来ます。現在働いている方のほとんどが、別にお仕事を持っている方や、健康の為にという方です。

集金業務
勤務時間　決められた期間内に終わらせてください
給　与　集金件数によって変わります
新聞購読者の各家庭を回り、新聞購読料を徴収するお仕事です。お客さんからも親しまれ、お店からも重宝されます。おしゃべりが好きな方や地元の人ともっとコミュニケーションを取りたい方にオススメです。

夕刊配達
月〜土、週6日
自転車またはバイクで新聞の配達をするお仕事です。
短時間でしっかり稼げます。
初めての方でも慣れるまで親切丁寧に指導します。
勤務時間　PM2:00〜(1時間程度)
給　与　月給 25,000円〜(配達部数によって変わります)
休　日　日・祝日

★アットホームな職場です！
★バイク、自転車貸します！
★正社員として活躍できるチャンスがあります！
★お休みの相談がしやすい！
★服装・髪型自由！

※詳細は担当 赤井までお気軽にお問合せください
中日新聞 あかい新聞店　武豊 0569(72)0356　常滑 0569(35)2861